

問 し尿問題の徹底解明を

答 プロジェクトチームを編成する



日本共産党議員団 山根 昇

問

し尿券問題の真相解明に對する市長と議員の態度に對して、市民の熱い視線が集まっている。前市長は、くみ取り業者の20年6～8月で判明した水増し請求、11万円分を詐欺容疑で宍粟署に告発し、同署は受理し、捜査し、送検したが、3月末に姫路地検は、不起訴決定している。疑惑にフタは許せません。市の調査で判明している「1600万円の未収金、タバコ店から集金の約94万円の市への未納」など問題が多い、警察への告発は正式に受理されているのか。

市長

先日、宍粟警察署長と会ったが「捜査は続けている」との回答であった。

問

共産党議員団は新たな領収書を手した。少なくとも

市長

警察の捜査を見守っている。しかし、あらたにプロジェクトチームを編成し調査する。

問

65歳以上の介護保険料は引き下げできる。20年度未決算見込みで2億8千万円の赤字になるとのこと。加入者は1万3千人で、年額6千円、3年間の値下げは可能である。とり過ぎた保険料は返すべきである。

市長

4月から保険料は据え置きであるが、検討してみたい。

問

国民健康保険税は高すぎる

と市民の声である。合併してさらに引き上げされている。

旧一宮・波賀・千種町では、一般会計から繰入れて、引き下げてきた。合併後は山崎方式で繰り入れられていない。命のよりどころ国民健康保険に助成して値下げするべきである。

市長

よく検討してみたい。

問

合併して行政改革で市民局の権限や職員が縮減されてきた。三方町出張所は、住民票などの取扱件数は、19年度3千3百件である。廃止の検討をすべきではなく、充実すべきである。

市長

私の任期中はその考えはない。

問

西播磨3市2町のごみ処理施設建設は問題が多い。処理方式の変更、入札業者の辞退、ごみ減量化、リサイクル、ゼロエミッションに逆行して過大炉である。安富町、新宮町は合併後の市は、施設稼働後5年で、組合脱退を表明している。管理経費、起債償還など財政を圧迫する。見直すべきである。

市長

合併前から進められている。よく検討してみたい。



デイサービス